南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと <u>soiga01@gmail.com</u>、 新聞 PDF 置場 http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

南相馬市から6月4日月朝 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。新鮮な話題をお届け! 2012-06-04 04:56:26 http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/9c80c5fa7bc409dc7d083a0a96a41e35

『ひとのあかし』

ひとは作物を栽培することを覚えた ひとは生きものを飼育することを覚えた 作物の栽培も 生きものの飼育も ひとがひとであることのあ かしだ

あるとき以降

耕作地があるのに作物を栽培できない 家畜がいるのに飼育できない 魚がいるのに漁ができない ということになったら ひとはひとであるとは言えないのではないか

「はらまち九条の会」に載っていた若松丈太郎さんの詩です。

相馬沖での試験漁で獲った魚、出荷も販売もできませんが、 漁師さんたちは食べているそうです。ヒラメなどはすごく脂が のっていて美味しいそうです。こんな美味しい魚、今までに食 べたことがないぐらいだそうです。

働くことで生きがいを感じています、人は働くことをやめたらひとではなくなってしまいそうです、いつも母を見ているとそう感じます、81歳になっても毎日、店に来て野菜や果物の袋詰めの仕事をしています。元気です、家族にとっては健康でいてくれるだけでありがたいことです。

私たちも働けることに感謝しなくてはなりませんね。

南相馬市から6月7日木朝 2012-06-07 05:00:02

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/1de477a537becb268ce9b2ef06ac11c1

『飯館は何なの』

東京に行くのに。福島から新幹線に乗ります。原町から飯館、 川俣を通って福島に、今までも、今も当たり前だと思っていま した。しかし、昨日、そうでないことを知りました。

震災後、屋内退避、緊急時避難準備などになり、大手の企業 は入ってこなくなりました、お国がそう決めたので従ったようで すが、昨日、ある会社の人と話していて ん~?何だ?

先週の木曜日からサイヤのレジを管理しているパソコンのプリンターの調子が悪く、メーカーに来てもらうことになりました。 土日が休みなので、やっと昨日、連絡が来ましたが、その会話の中で、今は福島市に営業所を移したので、原町に行くのに2時間ほどかかります?ん?ん?

2時間?普通1時間半ぐらいだと思いますがと言うと、川俣までは行けるのですが、そこから相馬にでて原町に向からものですから ん?飯館は通らないの?と聞くとはい、会社が本社が飯舘は通るなと言われているもので。とのことでした。初耳でした、確かに飯舘は線量が高いですが

みんな普通に通っているものと思っていましたが、規制をしている会社があるとは、ちょっと待てよと、たまたま来ていたいわき市から来ている大手の会社の営業マン(部長も一緒にきていたので)聞いたらなんとそこも飯舘は通るなと指導されているとのことでした。ただその営業マンは守っていないようですが、一部上場の会社はそう指導しているのかな?お国は規制していないのに自主規制?飯舘は危険なの?取りあえず社員のことを考えて?何かあったら責任を取れないから?つい何とも思わないで住み続けていると、危険な事を忘れてしましますが、こういったことを知るとやっぱり危険なところなのかなと改めて感じますよね。

真心をもって ・・・ 食える 負けてらんにぇ!みんなでなんとかすっぺ!!

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの 現地報告です。 2012-06-05 11:59:28

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/603b1cc96ad74c9a3a232325a0ec7a94

南相馬ブログ新聞 平成 24 年 6 月 10 日(日) 第 147 号



大遠足

人間は ケチな根性をさって 真心をもって道を求め 道に従って行なおうとつとめてさえいれば ・・・ 食えるようにできています。

> 人間の世の中というのは ・・・ そんな風にできています。



一喝・・・・ 日々これ好日なり

2012-06-05 20:44:01

http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/8646f63ae2a4fc5e4a65e073e9d68804



大遠足

雲門和尚のことばに 「日々これ好日なり」というのがあります。 ふつう これは 毎日が平穏無事 快適にすぎていく といった意味で使わていますが・・・

いえ いえ・・・

お前たちは なにをウロウロと 毎日を過ごしているのだ。 つまらんことに 来る日も来る日もこだわってなんになる。 時は お前たちを待ってはくれぬぞ。 今日一日 全身全霊をこめて頑張らずに いつ頑張るという のだ。

・・・ と 和尚の一喝が聞こえてくるようです。



今日のできごと 6月5日(火)南相馬市生活復興ボランティアセンターのブログ 2012-06-05 17:39:43

http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-11269678522.html 今日は、元気モリモリ!もりあげ隊のみなさんがサロンに来てくれました。



波乗り体操などいろいろな運動を教えてくださいました。

南相馬ブログ新聞 平成 24 年 6 月 10 日(日) 第 147 号



仮設住宅支援のボランティア活動は、活動場所 5件活動いただいた方 11人 でした。 ボランティアのみなさん、ありがとうございました。

6月4日(月)より活動日を金曜日~日曜日変更させていただきます。月~木曜日はお休みとなります。

屋外ボランティア活動について 6月8日(金)のニーズ件数は3件 ボランティア人数 30人程度 を予定しています。

平成 24 年度相馬野馬追まで、あと 54 日

ゆっ太郎 (2012.06.04 10:30) 相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。 ~ ふくしま相双 ~

http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/5553.html

旧暦五月、中の申(新暦の7月初~中旬にかけて)は相馬中村の国歌『相馬流れ山』に唄われている通り昔、相馬野馬追が開催される日でした。



http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=zv1wIVmuBu8

ゴールデンウィークが終わり5月中旬から丁度今頃にかけて 天気の良い爽やかな陽射しのある日には南相馬市原町区の 水無川でにしうち染工場さんの友禅流しが行われます。



相馬野馬追に出陣する騎馬武者が背にする相馬家武士の 家々に代々伝わる旗指物。

旧相馬藩領各郷の旗帳(はたちょう)には先祖伝来、それぞれの旗指物が記されています。

染めあがった絹羽二重の旗指物はいろうつりのしないようお がぐずでまぶされていてまた、もち米などで調合した糊を洗 い流すため友禅流しを行います。





今年も田圃の作付けを制限された南相馬市。

田へ水を引き入れることもないためか例年になく川の水が多く流れも急になっているので友禅流しにはあまり良い条件ではないそうです。

にしうち染工場さん、三代めとなる清祐さんと御歳80を超え、 川に入る二代めの清美さん相馬の伝統を継承します。





川からあげて工房へ戻り天日干しで乾燥して1,2週間。 旗指物として仕立て上がります。



南相馬ブログ新聞 平成 24年6月10日(日) 第147号

昨年、2011年は規模を縮小し相双地域の復興のシンボルとなるべく開催された『平成23年度東日本大震災復興相馬三社野馬追』今年は震災以前の通常開催を目指しています。 【相双ゆたどさ】

- :平成23年度東日本大震災復興相馬三社野馬追宵祭
- :平成23年度東日本大震災復興相馬三社野馬追~その壱~
- :平成23年度東日本大震災復興相馬三社野馬追~その弐~
- :平成23年度東日本大震災復興相馬三社野馬追~その参~
- :2012 年相馬野馬追まで、あと340 日
- :平成24(2012)年相馬野馬追まで、あと176日
- :平成24年度相馬野馬追まで、あと120日
- :相馬野馬追記録映像

平成 24 年度、2012 年の相馬野馬追開催は 7 月 28 日(土)・29 日(日)・30 日(月)。

野馬追まで、あと54日。





【相馬野馬追執行委員会 公式ページ】 (URL:http://www6.ocn.ne.jp/~nomaoi/)

<u>避難の状況と市内居住の状況</u> 南相馬市 東日本大震災関連情報

開相馬巾 泉口本人長火渕建作 避難の状況(H24.6.7 現在)

http://www.city.minamisoma.lg.jp/i/k/shinaijokyo/sinaihinanjo.jsp

平成23年3月11日現在の人口71,561人

【市内居住者】

自宅居住 34,500 人 市内の避難所 0 人 市内の知人宅や借上げ住宅等 4,752 人 市内の仮設住宅 5,303 人 計 44,557 人

【市外避難者】

市外の避難所 6人(うち福島県外6人) 市外の知人宅や借上げ住宅等19,912人 (うち福島県外12,439人) 計 19.918人

【その他】

死亡(震災以外の死亡含む)1,653 人 転出 5,162 人 所在不明 271 人 計 7,086 人

市内居住の状況(H24.6.7 現在)

【小高区】

平成23年3月11日現在の人口 12,842人 現在の居住者数 -人

- 一部帰還困難区域
- 一部居住制限区域
- 一部避難指示解除準備区域

【鹿島区】

平成23年3月11日現在の人口11,603人 現在の居住者数13.464人

【原町区】

平成23年3月11日現在の人口47,116人 現在の居住者数33,907人

- 一部居住制限区域
- 一部避難指示解除準備区域

【合計】

平成23年3月11日現在の人口71,561人 現在の居住者数47,371人

※平成23年3月11日以降の転入者を含むため、避難の状況の市内居住者数と合計の数が異なります。